

第 7 号

昭和51年 3月 1日

編集 旭川医科大学
厚生補導委員会
発行 旭川医科大学 学生課



(題字は山田守英学長)



早春の旭川医科大学

内 容

追 想……………岡田雅勝…………… 2	キトウシスキー場でスキー遠足…………… 5
ある協学者の死……………板倉克明…………… 3	サークル紹介…………… 6
規程の制定について…………… 4	学生教育研究災害傷害保険について…………… 16
第2回全学スポーツ大会開催さる…………… 4	旭川医科大学談話会…………… 16
短 信…………… 5	窓 外…………… 16



追 想

岡 田 雅 勝

かつてわたしは詩人を夢みていたことがあった。詩人への憧憬は何時のときからであったのかははっきりとした記憶はない。ただ幼な日のある体験がわたしを詩へと駆りたてたひとつの契機になっていたことは否めないようにおもわれる。といっても、それは遠い日の体験であり、その記憶はおぼろげでしかない。だが、静かに更ける冬の夜のこのひとときがその記憶を呼び戻してくれるのかも知れないと思いながら追想してみた。

小さなとき、わたしの家の床の間に一幅の山水画が掛っていた。わたしにとってそれは意味の解らない飾りものであった。どう説明しているのか解らなかったが、それでもわたしをひき入れ、何か知らぬ幽玄さのただようものであった。その掛物がある日わたしを奇妙な体験へと導いていったのだ。

わたしは小さなとき、よく絵を書いていた。画材はわたしの眼にふれるものなら何でもよかった。あるとき、わたしは庭に出て、花くそれはあやめだったか、それとも牡丹だったのか……を描いているときであった。山ぎわから落日の残照をうけたその花びらは彩かに色彩の変化をうけた。一瞬花びらが大きくなり、燃えきかった。わたしはすっかりそれにひき入れられていた。だが、その間、その花びらは次第に色調を失っていった。そしてやがて灰色と化した。わたしはあたりを見回した。夕闇につつまれていくのだった。あたりの大きな松の樹々も、澄んだ池の水も、そして庭石も灰色と化していったのだ。彩られた庭の風景がたちまちのうちに影絵の風景に変わってしまったのだ。光芒に燃えたあの花びらには、もはや色彩がない。そればかりではない。わたしをつつむ風景がすっかり色褪せてしまった。それはあの床の間の墨絵と同質な風景であった。わたしは床の間へと駆けた。いまみた風景とはちがっていた。しかし、何か似かよっていた。もう一度外へ出た。庭の風景は一層黒の世界へと深まっていた。

そのとき、母は病床にあった。わたしはそつと襖をあけ、母の枕元に座った。母はうなされて苦しそうだ。わたしはいましたがたした体験を話したかったが、母の姿をみてためらった。母はわたしに気付いたらしく、目を醒し、わたしをみて微笑みかけた。母は何かを話していたようだったが、その内容について記憶がない。ただ、微笑みながら語る母の面には涙がうるんでいた。何の涙だったのかわたしにはわからなかったが、母の面から、優しさと悲しみとの奇妙な渾濁を感じさせられた記憶が

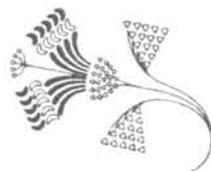
残っている。そしてその夜、わたしはふたつの錯綜した体験を反復しながら、独り床の中で言い知れぬ沈黙の接近を感じとった。

あくる朝わたしは陽光に誘われて目覚めた。わたしの視界には昨夕の影の世界とは全く違った色彩にあふれた世界が広がった。そして病床の母も起きあがっていて、わたしを呼んでいた。その面にはもう昨夜の陰翳はなく明るかった。

この体験がわたしの詩人への憧憬を決定的にさせたのかどうかわからない。しかし、この体験がわたしの作詩の何らかの礎になっていたことは確からしい。光と影との交錯が生み出す二つの風景が現われた。庭の風景はこれらのみえの風景と違ったみえを示すのだろうか。そうかも知れない。たしかに、さまざまなみえの風景があった。曇りの日の、風の日の、……。しかし、もしかしたら、墨絵に描かれた風景こそさまざまなみえの風景を一気にとらえて描いた風景ではなかったのか、という幼な日の思いが脳裏に残る。それにしても、母のあの面(おもて)に流れた涙は何になのだろうか。何故声もたてずに泣き、涙は流れるのだろうか。何故かしら、母の優しさと悲しみがわたしの心に触れ、わたしを不安にさせた。わたしに話すことばと違った何かが母のなかにある。発せられた音としての言葉が伝える意味とは違った何かか面ににじみ、わたしに伝わる。あのみえの世界は墨絵に描かれた。しかし、母の内奥にあるものをどうして描くのだろうかという疑問に答えられなかった。

それから、みかけの事象から事象そのものをさぐり、そしてそれを表わす真の言葉への探索がわたしの関心事となっていく。そして挫折と沈黙に身を委ねながら、現われを単に現われとしてみるのではなく、その現われの意味を感じるままに直観で把えようとした青春の詩作のアドベンチャーは、いつのまにか、それを思索で把えようとする方向に向ってしまった。それは言葉をかえて言えば、詩人としての自分の才能の見切りだったのかも知れない。

(哲学 助教授)





ある癌学者の死

板倉 克明

先月22日の道新夕刊の片隅に、アレクサンダー・ハドウ卿の死が報ぜられていた。ハドウ卿は英国の病理学者、1972年までロンドン大学の実験病理学の教授をされていた。1962年には国際癌学会の会長をつとめられ、また長年の化学物質による発癌研究の功績によってサーの称号を受けられた。

ハドウ卿に対して私は忘れ難い個人的な思い出を持っている。

今から10数年前、私が大学院学生だったころの北大病理学教室は活気にあふれていた。若い、気のあった研究者仲間が、酒を飲むあいまに熱心に研究を続けていた。私の研究課題はヒトの癌組織を免疫学的に正常組織と区別することだったが、来る日も来る日もnegative dataの連続であった。自分の予期したような実験データが出ないのはいまがなくて、優秀な先輩のTさんとKさんと一緒に仕事をしていると、自分の才能の乏しさをつくづく思い知らされた。

当時私たちはそろってシンクレア・ルイスの「アロウスマスの生涯」に感激し、その中に出て来るゴットリーブ教授に傾倒(?)していたが、実際KさんもTさんも「必要とあれば楊枝でロカ器を造ることも出来る」ゆたかな発明工夫の才を備えていた。実験病理の分野は何んといっても「創造性」の重んぜられる世界であり、私にとっては毎日が「友がみなわれよりえらく見ゆる日」であった。

大学院を卒業して国立がんセンターに就職した。ここでもまだ職業として研究者の道を選んだことに対する懐疑に悩まされ続けていた。10年20年とこつこつと地道な努力を続けていさえすれば臨床病理の分野でなら、何とか一人前になれそうな気がしたが、実験病理の世界ではそれもおぼつかなく思われた。実験病理を続けて行くか、いっそのこと臨床病理医として出直すかなかなか決断はつかなかった。

うつつと楽しまぬそんなある日、図書館から近着のBritish Medical Bulletinを借り出した。癌の特集号でハドウ卿が「癌の免疫」の綜説を行っていた。まったくおどろいたことに、その5ページにみえない小論文の中に、私のつたない学位論文が6行にわたって引用紹介されていた。

“Itakura (1963) is properly critical……”で始まるきわめて好意的な批評であった。うれしかった。

この世界的に高名な癌研究者の激励によって、おっちょこちょいの私はたちまち元気を回復し、臨床病理への

転向を思いとどまり、実験病理の分野でもう一度勝負してみようと決心をかためた。その後研究で挫折する度に(それは実に頻繁におこったことだったが)しばしば私はこの論文をひもといた。そしてそれからなぐさめとはげましをえた。

10年以上もたった今、ふりかえて見て、いわばハドウ卿にそそのかされたあの時の自分の選択が果して本当に正しかったのかどうかよくわからない。しかしその決断を悔いてはいない。

ここでノーベル賞受賞者のセント・ジェルジなどを持ち出すのもまことに面はゆい気がするが、彼もまた33才のとき、周囲の状況に絶望し、もうこれ以上研究をつづけてはいかれないと思ったという。自殺を決意した彼は、その前の数日を楽しもうとストックホルムにおもむいた。そこではちょうど国際生理学会が開かれていた。その会議の開会講演でホブキンス(ビタミン研究でノーベル賞受賞)がグルタチオンを中心とする組織の呼吸の話をした。その講演の中でホブキンスは当時まだ無名のセントジェルジの名を3度もあげてその酸化酵素の研究をほめたたえたのであった。それまで面識のなかったホブキンスのこの講演がセントジェルジをいたくはげまし、研究こそわが天職という決意をあらたにせしめたのである。

この世における人と人との出会いの不思議さ、よき人によって語りかけられる言葉の重みを感じずにはいられない。

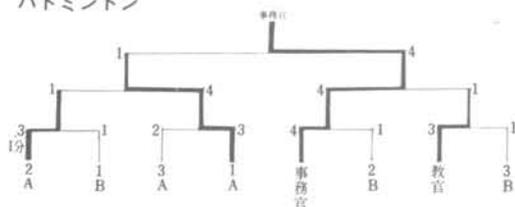
「むかひて愛語をきくはおもてをよろこばしめ、こころをたのしくす。むかはずして愛語をきくは、肝に銘じ魂に銘ず。愛語よく廻天の力あることを学すべきなり。」

30年前、中学に入って最初の国語の時間に、恩師のN先生からおそわった道元禪師のことばである。つつしんでアレクサンダー・ハドウ卿の冥福を祈る。

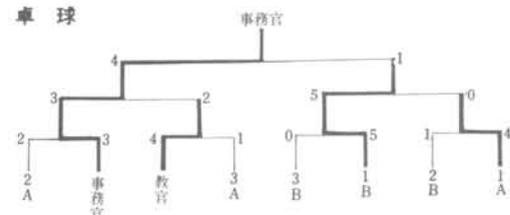
(病理学第二講座 教授)



バドミントン



卓球



短 信

✦ 志願者殺到、開学以来の激戦か ✦

3月23、24日に実施される昭和51年度入学試験の出願受け付けは、去る2月12日から2月21日の10日間行われましたが、100名の入学定員に対して志願者は3,088名にのぼりました。今春の大学入試の特色は、新教育課程によるもので、本学でも受験準備の負担軽減をめざして入試科目の削減が行われ、受験雑誌による情報過多や不況を反映し景気に左右されない職業の選択傾向と相まって志願者が激増したようです。

本学では試験場を2会場として準備をすすめています。受験者数も開学以来の数となるのは確実なようです。

試験場	志願者数	合計
第1試験場(本学)	1,603 (123)	3,088 (259)
第2試験場(旭川東高)	1,485 (136)	

()は女子内数
(学生課)

✦ 学友会でシンボルマークを募集 ✦

学友会では、去る1月27日(火)に代表委員会を開催し、次のとおりシンボルマークを公募することとしました。シンボルマークは応援旗にも使用されます。

応募資格 学生・教職員 期限 本年4月末日
規格 3色以内B5用紙使用 選考 代表委員会
賞金 採用作品に金一封 提出先 学生係
(学生課)

キトウシスキー場で スキー遠足

去る2月14日(土)、晴天のキトウシスキー場で第1学年学生のスキー遠足が実施されました。当日は下田、黒田両副学長をはじめグループ担任、厚生補導委員会委員、体育教官(非常勤)ならびに学生多数が参加しました。スキー場では下田副学長から挨拶があり、体育教官から諸注意があった後、リフト券が配布されスケジュールにより班別及び自由練習が行われました。スキーの堪能の合い間には、豚汁と甘酒に舌づつみをうちながらの懇談が行われ、途中のリフトの一時停止とともに印象深い一日でした。

(学生課)



サークル紹介

本学には数多くの課外活動団体があり活発に活動を行っています。課外活動は、人格と人格との緊密な接触を通して、集団活動の実践的な体験を得ることにより、個性と能力を生かし、豊かな人間性の涵養に役立つものです。サークルは諸君の加入を待っています。

(学生課)

ラグビー部

我々ラグビー部は、今年もまた勝利をかちとることができなかった。

それというのも、部員不足のため、まともな練習ができないからである。最近では、日本のラグビー人口もふえ、女の子の人気もうなぎのぼりで、某大学では、試合の時だけでなく、練習場や、夏季合宿などにおしかけて、「キャステキ」とか、「カッコイイワ」などという時代なのである。

しかし我々ラグビー部は、一向に部員が増えてゆく気配がない。某大学と我校のラグビー部の違いはどこにあるのであろうか。強さについては負ける。しかし部員個々の顔の良さ、カッコヨサでは、だんぜん我校がリードしているのである。

しかしこのような苦境にもめげず、少ない部員は一致団結して、一段一段、着実に勝利への階段をのぼっている。今年度は2戦して0勝2敗であったが、最初の敗戦と次の敗戦とでは、得点差をちぢめ、相手の得点を減少させるといふ、オフエンス、デフエンス共に格段の進歩をとげた。特に2戦目にあげた、スクラムトライなどは現在の我々クラブを象徴するかのような、素晴らしいトライであった。このように我々ラグビー部は、まだ発展途上にある弱小クラブである。しかし、これからますますのびていく可能性のあるクラブなのである。

最後に、我々クラブに入部したい方へ。

1. 入部の際、体の大きさ、足の速さは問いません。特典、入部すればすぐレギュラーとして試合に出場できます。
2. 女子の入部はマネージャーという形なら大歓迎します。

若人よ、来たれラグビー部へ！

(責任者 横山良伸)

部員	必要経費負担	活 動
16	ユニフォーム・靴代負担(年10,000円)他に遠征費	旭川ラグビー協会会長杯(大学の部 決勝進出) 市民大会ラグビー部門決勝進出

硬式庭球部

硬式テニス？わあ、難しそう、まあそう言わずに。あなた、3カ月頑張ってみませんか？やさしい先輩の下(皆大学に入って初めてラケットを握った人たちばかりです！)ほんの少しの辛抱で、あなたは真夏の太陽の照りつける下で、こんがりテニス焼けした旭川のコーナズ、エバートになれる夢を見ることができるでしょう。

この大学が初めて春を迎えた時、テニス部が発足しました。コートがなかなかできないため、遠い護国神社のコートへとみんな頑張って練習に。その成果が徐々に現れ、道内の個人戦で活躍する人もちらほらと……………。

また大会が楽しいのです。昔同級生だった人と思いがけないテニスコートでの対面。

「あら、あなたテニスやってたの」「えっ、あなたも。びっくりしたわ」

旭川に閉じこもらないで、どんどん友好の場を広げられるのもテニスクラブならではのこと。

今年は2代目部長、鈴木望君を迎えさらに張り切っています。めざすは、大学春、秋個人選手権、新人戦、そして大学対抗戦。そして東医体(今年は東京)で、何とか一セットとること。

初心者の方、もちろん女の子も大歓迎。以前テニスをやっていた人、あなたなら我がテニス部の星となり、道内制覇も間違いないかも……………。

(責任者 鈴木望)

部員	必要経費負担	活 動
35		北海道大学王座リーグ戦 10位

準硬式野球部

野球部が結成されたのが、大学開校とほぼ同じ時期、つまり、大学の歴史と共に野球部の歴史もあるといえる。とはいっても、わずか3年である。医学部という立場からクラブの有り方について、何度か議論を重ねたが、結論は“勝つ野球”ということになった。現在部員は18名だが、実際の活動参加はわずか14名である。これでは、少な過ぎる。更に学年が進むにつれ、練習等に出られる数も減ることが予測される。従ってどうしても、1・2年を中心としたチームとなってくる。それ故、新入生への期待が大きい。シーズンに入ってからの練習はもちろん、オフの練習にも力を入れ、勝つ野球をやって行きたい。昨年の練習は、週4日、戦績は6勝6敗、道内では2度ベスト8入りし、徐々に力は付いてきていると思う。今年は新入生を交え、動かぬ基礎をつくって行きたい。今年の目標は、道内ベスト4入り及び東医体ベスト

4入りをと考えている。その他、北大医、札医との定期戦も公式試合の一つとなっている。とにかく今年は、揺るがぬ座をというのが、部員の目標であり、新入生の入部を、期待して止まない。

(責任者 落合聖二)



部員	必要経費負担	活 動
18	月額 300円 他に遠征費	全国大学準硬式野球道予選、地区体、新人戦、いずれもベスト8進出

バレーボール部

我が愛するバレー部は本学ではユニークな存在です。まずチームワークはバグン!!バレーボールは団体競技なので、おのおのがチームメートを尊重し、同時にチームの為となるならあくまで自己を主張し、目標に向かって一つとなり突き進んでいるクラブです。そこでは個人的な甘えや我儘は排されなくてはなりません。

次に、医者という職業はいかなる試練にも耐え、時には自己の体力の限界を極めなければならないということに鑑み、週3日の練習は正に自己との戦いといえ、基礎体力養成に重点をおいて、単なるレクリエーション的なクラブとはおよそ性格を異にしています。

この2点に、我がバレー部が全国の医学部のクラブ中でも、トップクラスの強さを誇っている由縁があるので。

新入生の皆さん、バレーを通し悔いの残りがちな大学生活を、我々と共に、より充実した実り多いものにしていきませんか。設立されて間もない本学をどのように創りあげてゆくも私達そして君達次第なのだから……………。

10年20年後、幾多のOBと伝統を受け継ぎ頑張る現役との温かく堅い絆を想うと胸が高鳴ります。

来たれバレー部へノ君もノ君もノ君もノ

(責任者 浜崎卓)

部員	必要経費負担	活 動
11	月額 500円 他に遠征費	道春季リーグ戦4部優勝3部入道大学選手権、地区体、東医体5位、道秋季リーグ戦3部優勝

陸上競技部

旭川医科大学入学おめでとう。旭川医科大学の創設期に医学生としての第1歩を私達とともに歩むことになりました。他大学と違い何から何まで新しく、しかし未完成のこの大学を立派な大学にしてゆくのも、君達4期生しだいです。共に語り合い、考えてゆく中で、医学生とは何かを考えましょう。しかし考えるだけでは十分ではありません。体力も補強しなくては。受験で疲れたからだを鍛え直すために教養があると言っても過言ではありません。そこで、私達陸上部の紹介をさせていただきます。

陸上部は走るクラブです。ただ走るだけじゃつまらない、とお思いでしょうが、旭川ではそうではないんです。大雪山や十勝岳を遠望しながら走ることの素晴らしさは最高です。この充実感をあなたにも分けてあげたいのです。部員は現在10数名で、陸上競技経験者より未経験の人の方が多く、又本州出身者が多いのです。ですから、2本の足とファイトがある方、ファイトがなくても友人のほしい方は是非陸上部へ。それから、本州出身の寂しそうにしている君、是非陸上部に来て下さい。

ただ今、選手は、中距離と跳躍の人しかいませんので、短距離選手を必要としています。昨年度は東医体しか出場しませんでした。今年からは部員も増やし頑張ってくださいと思います。練習は週2回程度、放課後行います。さあ春です。いっしょに走って胸にこびりついたものをふき飛ばしましょう。

(責任者 高木勇)

部員	必要経費負担	活 動
13	遠征費(東医体15,000円)	東医体参加

空手道部

君は何故我が校に入ったのか。空手部に入るためだ。そうに違いない。それでは何故空手をしたいのか?体を丈夫にしたいのですか?それもあるだろう。強くなって女の子を痴漢から守るため?それもよろしい。あるいはブルースリーのような如き肉体美を作るため?いいよ。それとも空手の道を極めたいのか?そんなことはないだろうがとにかく我が空手部ではあらゆるタイプの人の入部を歓迎します。

我が部は連日激しい練習をし、優秀な人には3年以内に黒帯がとれることを約束いたします。しかし練習嫌いの人にもリンチはせず、絶えず暖い目で見守る優しい先輩達が指導するであります。

このように我が部のモットー「強い体、優しい心」は常に実践されているのです。

現在部員は7名プラス1名で、我が校の一大圧力団体として成長しつつあります。その上あの有名な和道会旭川支部からコーチを招き、日夜東医体V9を目標として努力しているのです。

さあ、君も空手部に入って鉄下駄をはき、スンチャクをふり回してみませんか。

(責任者 猪俣光孝)



部員	必要経費負担	活 動
8	月額 300円 遠征費(東医体20,000円)	全空連和道会旭川支部結成15周年記念大会(個人)3位

山 岳 部

登山はスポーツである。しかし他のスポーツとは、かなり大きな相異がある。その最大の理由の一つは、登山は一定のイメージ概念を持っているが、人によりその内容の偏差の大きいことにあると思う。私達はそれらに容喙はしない。しかし夕眺めの中で薔薇色に染まる大雪・十勝の山脈を観る人はその厳かな山体に目を見張るであろう。私達のクラブは各部員がその単純な感激を基盤に持ちつつ、一つの集団としての結束を固めることを目指す。

重力と争って高みを志向する私達は己の非力を知る。しかし微小な人間の力を認識しつつ“内なる辺境”としてのイメージを各人が様々な道程を経て純化して行き、共同の行為を通じて、それらが太古獣道を辿って人間として初めてカムイヌプリの頂に立った埋もれた狩人が目



にした湖の色となったとき、重力に虚しく逆って高みを志向した私達は一つの心で頂を踏むことが出来よう。

私達はより多くの支えと、その確かな感慨を共有したいと希っている。

(写真は一昨年夏文月、石狩岳山頂での部員の勇姿?)
(一服中の土工達ではないのだ!)

(責任者 石川直)

部員	必要経費負担	活 動
12	遭難対策費徴収予定(月額100円) 個人装備50,000円	

卓 球 部

卓球をしているというとき「あんな小さな球とよくつきあっているね」とか「こせこせしてつまらない」「回転の変化でごまかされる」などと言った言葉がよく返ってきます。

しかしそれだけのものであるならクラブ活動として卓球に取り組む人はいないでしょう。卓球は最もスピーディーで、強い体力を必要とし、なによりも冷静な判断力と決断力を必要とするスポーツなのです。ただその本当の味は実際にプレイした者にしかわからないものです。

さてわが卓球部の昨年の成績はと申しますと全く不本意としかいいようがありませんでした。原因は試験と試合の日程が重なったり、病気、怪我等でオーダーに穴があき、一度もベストメンバーで戦えなかった事です。しかしそれは医学部の宿命である以上、選手層を厚くすることができなかった私達の責任でもあります。

今年度は昨年の不振を教訓として、また東医体に初めて参加して個々の部員が直接に触れた他大学のクラブに対する姿勢などを生かしていきたいと思えます。新入生諸君には一人でも多く一緒に活動する人の来ることを願っています。

(責任者 西野茂夫)



部員	必要経費負担	活 動
13	年額 3,000円他に 遠征費70,000円合 宿費10,000円	インカレ予選 Bブロック3位 地区体 Bブロック3位 北医体 8位

弓 道 部

たまには袴をつけて正座するのも良いものであります。そもそも古来武士道とは、ノなど、肩肘はって真剣な顔をして弓を引くのも良いものであります。仲間と連夜の酒をくみ交すのも結構なことでもあります。日本古来の精神とはなにか、と深遠なる考察をするのも楽しいですし、主将を囲んでアホな話をするのもおもしろいであります。弓道部はスキニップをモットーとしております。現在、医大に道場こそありませんが、函館本線旭川駅すぐそばの旭鉄道場を借用して日夜猛練習に励んでおります。平凡なる大学生活を試験に追われて過すよりは、弓道部で自らの精神力、根性の限界を試す方が身のためだと、先輩として忠告いたします。今日弓道は非常に盛んで特に医学部では大抵の大学が弓道部を持ちそれぞれの大学間の交流も盛んです。我弓道部も札医大と積極的に交流し、打倒札医大!!ひいては東医体制覇を旨としており今年の東医体では上位進出を目標にがんばっております。弓道のおもしろさ、難しさは実際に見てみ、そしてやってみなければ判りません。興味のある方は3A近藤、大崎まで。11名の仲間がいっでもお待ちしております。もちろん男子部員も大歓迎であります。

(主将 大崎能伸)

部員	必要経費負担	活 動
11	月額 500円 他に遠征費	地区体、東医体参加 道学生弓道連盟主催新人戦(個人3位)

剣 道 部

おめでとう。数あるサークルより、よくぞ剣道部に入部されました。

さて、サークル活動について、私論となりますが…。例えば、剣道が好き、剣道がやりたい人が幾人か集まれば、自然発生的に、サークルが出現するが、同時に、お互いに対して、ルールなるものも生じる。つまり自分の意見・見識・行動等を持つ人間達が、一つの団体を構成する以上、各々勝手気ままという訳にはいかない。一人一人が、練習日・時間・方法を主張して固執すればもうサークルなるものは存在しなくなる。剣道という最



低限度の共通要素すら喪失してしまう。よって、多少の不自由はあっても、そこは我慢してくれる位の友情は必要だし、意見一皆が持っている一を抽出して活動を進めて行く、そういったサークル活動でありたいし、その一員として、剣道部を考えていただけたら幸せです。賛否両論を待ちます。

さあ二度と訪れない若き日々、その夢の中で、俺達は血を燃やせたと追想しえる、そんな剣道部にしていこうではないか。学問も恋も友情も、情熱の溶鉱炉で、追い求めたい、そんな気になりませんか。

(責任者 道籓裕)

部員	必要経費負担	活 動
11	遠征費 負担	東医体予選ブロック4位、 道剣道大会予選ブロック2位、 道学生剣道新人戦(個人)3回戦

アーチェリークラブ

我々、旭川医科大学アーチェリークラブは昭和50年6月に発足した。現在メンバーは男女合わせて10数名を数えている。おもに全員もと1年である。アーチェリーは少しお金のかかるスポーツである。しかしその価値に値するだけの魅力とおもしろさを持っている。昨年はヤマハから弓を寄贈してもらったり、旭川のフタバスポーツ店から俵を貸してもらったりしていろいろな方面から援助してもらい活動を続けてきた。元来、アーチェリーは冬でも屋外で練習のできる西日本を土台として盛んに行われてきたが、我旭川医大アーチェリークラブでは、このような旭川のきびしい冬の環境にもめげず練習を行っている。我クラブの水準はきわめて低いが、これからはどんどん向上しオリンピックをめざし練習に励むつもりである。我と思わん方は、ごぞって我クラブに加入してもらいたい。(男女問いません。)

(責任者 江尻倫昭)



部員	必要経費負担	活 動
11	月額 300円	旭川アーチェリー協会大会(個人)3位、4位、6位

柔 道 部

諸君とともに栄光ある歴史を創造するべき我部について簡単に述べてみる。旭医大柔道部は創立2年目で、早くも他のクラブを圧倒する人気と実力で学内はもちろん全道全国から注目をあびている。昨年は惜しくも全道制覇を逸し部員一同くやし涙を流した。しかし初の定期戦では北大医学部を血祭りにあげ、旭医恐るべしと北大生を驚嘆せしめ、札幌に一大旋風を巻きおこした。定期戦後の交歓会においても、いならぶ北大、札医の柔道部員を圧倒する活躍で、北海道柔道界の新星、猛虎、若きプリンス達と大いにもてはやされた。旭医大柔道部の壮々たるメンバーはまさに猛虎そしてプリンスという名にふさわしいと自他ともに認めざるをえない。さて今年は待望の道場が完成する。この道場こそ、知識を大学に学び精神を柔道から学ぶ我々にとって心のよりどころである。そしてここから、明日の世界の覇者が生まれるのだ。

年齢を問わない。性別も問わない。若き血潮にあふれる全ての諸君!!我々とともに世界へはばたこうやおまへんか。

(責任者 石川裕司)

部員	必要経費負担	活 動
10	年額5,000円他に遠征費等負担	札医、北大医、旭医対抗戦2位

サ ッ カ ー 部

医大サッカー部が歩み始め、早3年目を迎えようとしている。当初、部員の大半を初心者がかめ、少々同好会的雰囲気も否定できなかったが、現在、やる気のある12人が残り、ボールを追う目も日増しに鋭くなってきた。昨年は、東医体出場を辞退し、大雪山麓で想像を絶する猛合宿が行われ、団結力は増す一方、技術体力の面でも大きく向上した。その成果は、秋の市民大会一般の部でベスト4入りをするという誰もが予想しなかった快



挙で、示された。我クラブでは、常に走るサッカーをめざし、ガッツあふれるチームを念頭においている。夕日が残るグラウンド、西に沈む太陽と大雪連峰上に登る満月

を背にして、泥にまみれた黒いシルエットから、汗シブキが、キラキラ舞う時、又真夏の太陽の下、何気なく見た腕に、汗の白い結晶がブツブツと吹き出る時、そんな時にこそ青春を感じないか?無念にも試合に敗れ、引きあげて来た我々に、涙ふく木綿のハンカチーフがさし出された時、ロマンを感じないか?今年は、本格的なグラウンドもでき、クラブとしても数々の催しが計画されており、一段と飛躍の年となるだろう。やる気のある諸君、来たれ、サッカー部へ、男の世界が待っているぞ!

(責任者 笹山千加志)

部員	必要経費負担	活 動
12	無 料	グラウンド開き 1回戦 地区体 1回戦 市民大会一般の部 準決勝進出

バスケットボール部

現在、バスケット部は希望に燃えた部員を必要としている。体の大小は問題外として、体を動かして汗を体いっばいにかいてスカッとする気分、それに加えてプレイに対する繊細な思考、思考から行動への素早い敏しょう性、これらはこのバスケットというスポーツ以外を通しては味わえないものである。

実際の練習は、週に2回程度、そして主に初心者を対象として基礎体力増強と基礎プレイ修得に多くの時間を費やす予定。それらをもとに実際のゲームで実際のプレイを身につけるようにと考えている。

医学部というハンディキャップはあるにしても、諸君らの若き肉体をそのまま触まれてはもったいないではないか。バスケットをやってみたい人、体力をつけたい人、どなたでも、バスケットの真以をしてみたい人、我がクラブ入部されたし。

(責任者 福田博)



部員	必要経費負担	活 動
12	年額10,000円他に遠征費50,000円位	道地区学生バスケット選手権 リーグ戦1勝2敗、東医体 リーグ戦 2敗

ボディビルディング

医学部に入って最低6年間もの間、何もすることなくすごすと、毎日が実につまらない日々になると思う。そのつまらなさとは、何かに夢中になるものがないからである。もちろん勉強に夢中になれる人もいるだろうが、その人も又、暗記という学問の壁にやる気をなくす時がくるはずである。そんな時他に何かやれるものがあればそれは例へスポーツであっても、文学芸術であっても良いのであるが、僕の場合は体を動かす事と芸術に関する事で、そのスランプをぬけだそうとしている。ボディビルは体を鍛えることを主な目的としている。実に地味なもので、他のスポーツのようにハデな所がない。しかし努力をすれば、除々に重いものが上るようになる。このおもしろさは、一度やれば忘れることのできない本能的なものである。同時に自分の肉体をいつまでも元気な状態に保つこと、これは今の僕たちには実感として味うことはないが、年輩の人達がボディビルを続けている大きな理由の一つだと思う。しかし年をとってからでは遅いのであって、この長い6年間の少しのひまを見つけて、やる事が、後で続けてよかったと気付く時に大きな役割を果たす事になるのである。見るな実行あるのみ。

(責任者 豊川好男)



部員	必要経費負担	活 動
10	無 料	

ゴルフクラブ

ゴルフといえば、お金のかかる贅沢な、学生にはふさわしくないスポーツと考えるだろうか。確かに、ゴルフにはそういうイメージがつきまとう。だが、これらの多くは、マスコミの作り出した宣伝による幻想に他ならない。現状を申し上げると、練習では、1コース10km近くを、10kgもあるゴルフバッグを担いで、野を越え山を越える体力が必要とされる。費用の点でも、月額500円の部費を除いて、練習は100円程度でできるの

である。決して、他の学生スポーツに比して、運動量の点でも、費用廉価の点でもひけのとらないものであると言わざるを得ない。

只、ゴルフは、まず、マナーとエチケットを基調とするおとなのスポーツである。常識と冷静な判断力、そして、鋭利な感性を必要とされるものでもある。

大学生のスポーツとして、興味ある面白さを兼ね備えたものとして、ゴルフは未来性を秘めたものである。

意志ある人々の加入を乞う。特に、初心者も歓迎します。

(責任者 岡本洋)



部員	必要経費負担	活 動
22	月額 500円他に年額 2,000円、練習費100円~250円	

PHOTOGRAPH CLUB

旭川医大も、はや4期生を迎えるまでになりました。写真部も開学と同時に創設され足掛け4年となり、部員も除々に増え活動も定着しつつあります。去年は、6月、9月に写真展を催し、6月には全学を対象に写真コンテストを行いました。特に6月に行った写真展「旭川医科大学」今までそして明日からは」は、開学当初の模様を知らない、2期生、3期生、先生方に大変好評を博しました。現在、部員個々の活動は勿論の事、部としては新設医大という特殊性を考え、開学以来、入学式、大学



晩秋の十和田

祭、スポーツ大会を始め学年コンパ、実習風景に至るまでをカメラで記録しつづけ、その記録はフィルム100本にものぼろうとしています。これは将来も写真部が行う一大事業と考えています。堅い話はこれまで。写真を今までやって来た人、これから始め様と思っている人、多数の方の入部をお待ちしています。初心者にはフィルムの入れ方から、カメラの購入まで、親身な指導をいたします。今年は大学の写真人口の拡大を目指し、撮影会も予定しています。顧問の先生を始め部のムードは和気藹々、是非入部を。昼休みに3階の暗室にちょっと顔を出して下さい。又、各学年の写真部員までいつでも申し出て下さい。

(責任者 齊藤達也)

部員	必要経費負担	活 動
11	年額 2,000円	50年 5月 写真展 50年 9月 写真展(大学祭)

音楽集団飛行船

まずは一句“目に青葉、山盛りカレー、初便秘”春を迎え、我々フォーク音楽集団飛行船、通称神楽岡開拓部落青年団も夜な夜な月に吠える頃となりました。卓越した知性と教養、抜群の美貌以外に何ら取り得ない我々ではありますが、目指す所は遥なる音楽の新天地!!フォークにとどまらず、ナイフからスプーンまで幅広い音楽の創造を合言葉に、今年はオリジナル曲の創作を最重点とし、近い将来“旭医音頭”から“旭医小唄”、果ては“神楽岡に雪が降る”まで様々なレパートリーを持ちたいと思っております。ポップコン等のコンテストにも積極的に参加したいと思っておりますが、その意志は純粋にして無欲。あわよくばレコードを出してTV出演も等という不純な考えは——部員一同の悲願であります。ソロで良し、コーラスで良し、インストゥルメンタルで良しセンチメンタルで良し(?)とにかくオールマイティのサークルが夢です。プロギタリストの粒粒君、プロピアニストのチビちゃん等奇人変人の多い我々クラブ。座長の顔を見て



笑ってみたい方、フォークをこよなく愛する方、のどに自信のある方大歓迎。急募=ドラムをひらばたける人。(尚、カステネットに自信のある方は、次回の募集をお待ち下さい。)

(責任者 長谷部直幸)

部員	必要経費負担	活 動
10	年額 1,000円他に楽器は各自持ちより、合宿費負担	

釣 俱 楽 部

旭川は盆地都市なため、少し足をのばせば大雪山系の清流に入ることができます。そこでは、銀鱗舞うヤマベ・イワナ、はたまたカジカなどを見ることができます。これが本当のホンモノ。勉強に疲れた時、ストレスに悩まされた時、女の子にふられた時、清流に糸をたらすことはこの上もない喜びであって、釣り上げた魚を油揚げしてビールと共に口ばむ。これが本当の醍醐味であります。尚釣具一式が1500円程度ですから、少ない金銭の支出に対して、大きな夢を釣ることができます。また当釣倶楽部の特等会員には、魚をみて宇宙の秩序を解明せんとする哲学の岡田先生、「ばくの餌はうまいんだヨ」と魚に催眠術をかけてしまう心理学の岩瀬先生、魚と学生を同時に世話するスーパーマン安藤氏などベテランがたくさんいます。岡田先生が釣り上げた50cm級の虹マス写真でみせられないのが残念です。

一句:勇駒の イワナほしきで 夜が明ける

(責任者 大河内博雄)

部員	必要経費負担	活 動
7	釣具等自己負担	

医 療 研 究 会

医療研究会は、現実どんな医療がなされているのか勉強したり、病院や地域へ行って調べたり、医療に従事している人々と話し合い学んでゆくサークルです。そうする中でどんな医者、研究者になったらよいのか、どんなふうに勉強していったらよいのかを考えてゆくサークルです。昨年4月に発足したばかりの若いサークルですが現在部員20数名、昨年8月から9月にかけて白滝村健康調査を行いました。健康調査のために、事前調査や、臨床の先生に来ていただいて村の人の診療も行いました。このように、医療研究会ではいろいろな所で、どんな医療が行われているか、自分たちの目で実際に見て自分たちの足で調査し勉強してゆきます。第2に医療問題につ

落語研究会

いてより深く知るために学習会なども行います。

3番めには、月1回程度のレクリエーションです。昨年は、コンパ・ハイキング・ボーリング大会などみんなの交流の場が何回もつくられました。その他、看護学院のサークルとの交流や合同活動もやります。医療研究会は、この3本柱を中心にしてサークル活動をやってゆく予定です。部会は週1回程度です。みなさんの入部をお待ちしています。

(責任者 鈴木安名)



部員	必要経費負担	活 動
22	月額 100円その他フィールドワーク等の食費、交通費	

語学研究会

私達は今までに、6年間以上、英語教育を受けてきた訳だが、一体その何%の人達が外人と面と向かって話することができるだろうか？甚だ疑問である。

医学は近年増々国際性をおび、外国の知識を早くいっぱい吸収しなければならない。研究するにしても日本人が一番苦勞するのは言語である。私達が世界という舞台で活躍するために、是非ともこのハンディを克服しなければならないと思う。

幸い私達のクラブでは、米国人教師Mrs. J. Okawaを迎えて、大きな夢を持った有志によって結成された。単に会話力を養うためばかりでなく、楽しく語りあえる場にしようとして、私達は大いに張り切っている。ハイキングや合宿でより親睦を深める計画もある。とかく人間というものが疎かにされがちな現代社会において、私達のクラブは貴重な存在だと思ふ。

私達は今一度しかない青春の真只中。楽しい大学生活を語り、広い外国に目を向け、輝やかしい未来を夢見ようではありませんか!?

(責任者 古川英樹)

部員	必要経費負担	活 動
13	無 料	毎週月曜日 English meeting (17:00-19:00)

日本広しと言えど医学部に落研があるのは東京医科歯科大と、我が旭医大だけという少々ユニーク過ぎるクラブ。このせちがらい世の中受験勉強に追まわられて忘れてしまったのが笑いの世界。「笑う門には福来たる」と誰かさんが言っているじゃありませんか。「男のニヤケは気色が悪いが腹の底からの豪快な笑いは人を引きつけ、女性の笑いはこの世の絶品。顔が笑えば心も笑う。笑いは頭のレクリエーション、てなわけで自分も笑って他人も笑わせようと云うんですが、なかなかうまくいくもんじゃない。表現技術の稚拙さのために、さんざん苦勞して覚えた噺を笑ってもらえない事もあるんですが、思いがけない所で見せてくれるあの笑顔が忘れられないもんです。

猿談すりゃあ誰でも笑うが、そんなもんをやるうってんじゃない。落研は笑いを哲学しようってんですよ。

笑ってばかりじゃ品位が落ちるなんて事を云う不人情な人も居るが、そんなプライドが何になるってんですか、人間馬鹿になる事も必要なんですよ、バカになって真面目に笑いを哲学しようじゃありませんか、ネ。

狐波亭朱藍(こんばていしゅらん)、藪居亭悟信(やぶいていごしん)、度助満女子好(どすけびつちおなごすきい)、今日猛よたろう、不良零点可不可(ふられていかふか)白無垢雪之丞(しろむくゆきのじょう)なんて楽しい仲間といっしょに笑ってみませんか。

御参考までに、当落研には今までの禁酒の決意は天文学の数値に達するといわれる解剖学の仲西教授が黒幕として控えており、部員との話し合いにはわざわざその固い決意を解いてまで協力して下さっています。

(責任者 石橋隆治)

部員	必要経費負担	活 動
12	無料その他扇	50年6月 NHK・FM出演 50年7月 白菊会総会に出演 50年10月医大祭ひばくら亭主催

生物クラブ

生物クラブは昨年6月に動物解剖を意図して発足。オタマジャクシとカエルを大学の囲りの草地で採集し、10日間余り飼育・観察した。カエルの組織を顕微鏡で見たり、オタマジャクシの尾の再生方向を調べたりした。6月中旬にはウグイの人工受精を試みたが失敗。とにかく高校時代に生物を勉強した者が少なくて、生物学の根本的方法を知らないために観察実験もまともじゃなかった。

他にムクドリやカラスの解剖も行った。これらの組織標本のいくつかはホルマリンやアルコールで固定してあります。8月には占冠で3泊4日の合宿をして、互いの交流を深めると共に、生命・生物学の現状と分子生物学・進化などに関して討論し合った。これは生物学的もの

の見方を理解するきっかけとなった。野外活動では採集標本もなくさびしかったが、自然に親しんだ楽しい4日間だった。その後の活動は大学祭に向けて発生のスライドを作ったくらいで乏しい。責任者の能力及ばなかった事を深く反省します。

これからの生物クラブのあり方としては、生物学という広い分野の中で具体的に問題をしぼり、確固とした科学的方法論を用いて研究していく事が望ましいと思う。僕たちが生活している生物環境に目をやると、いろいろと面白い事がある。その中で生態学的に見て行く事が必要ではないか。分子生物学は生物学講義や本を通して、言わば知識として身につけて行くものだが、自然は、実感として受けとめられて始めて深く理解されるものである。新しく一年生になられる皆さんも、生物的環境の中に生きている人間のひとりとして、この自然としての生物にここで再び目を向けられたらいいが。湯川さんの「人間の発見」にも「人間は自然界の中から生まれてきてそこで安心して生きていく」とありますように。

(責任者 加藤法導)

部員	必要経費負担	活 動
15	年額 1,000円その他白衣	50年9月 医大祭生物スライド(発生の諸段階)

プロメ会

青年時代こそ、人間が最も大きな問いを活々と問う頃でしょう。私達はその問いを人間自身へ向け、人間とはどのようなものかを共に学び考えようと、昨春結成したグループです。会員数、6名。さしあたっての戦略は1)何かひとつ拠点を持つこと、2)科学的方法を身につけること、3)視野を全体へ広げること、の3つだと思えます。人間への接近の仕方は①人類学型、②心理学型、③医学型、④人文社会型、⑤行動科学型、⑥人間学型、と大きくわかれますが、私達は特に③の生理学型を1)の拠点に選び、人間の多次元性に対応してゆこうとしています。プロメ会は、従って、行動医学研究会とでもすれば内容をわかっていただけるでしょう。現在は、会員



個々が全体を展望しうる確実な視座をもつために、広く内外の文献を抄読し、水準の向上に努めております。私達はこの研究会を通じて、新しいアカデミズムを生み出す努力をかさねてゆきたいと思っています。旭川の地に春を迎える頃、又新しい世界と新しい友達をつくりたいと思います。毎週水曜日、第一セミナー室、あるいは第2生理学助教教室で会を催しています。是非、遊びにきてください。

(責任者 上田譲二)

部員	必要経費負担	活 動
6	無料その他文献複写料金	

茶 道 部

静寂の中にお湯の沸く音がかすかに響いています。床の間には小さな野草が1本。畳の上ですわっておかしをいただき、お茶を味わう…週に1度の、心の休まる時間です。本当は足のしびれにじっとがまんの子なのですが…。

ある程度の作法を身につけたいという人、少しでも女らしくと願う人などが集まって茶道部ができてから、ほぼ1年になります。茶道というものを全く知らないばかりのメンバーでしたが、毎週1回、2人の先生の親切な御指導をいただいて、足の運び方もお茶碗の扱い方も少しは様になってきたようです。今度の学校祭には、盛大なお茶会を催して、たくさんの方にお茶を味わっていただくと同時に、女子部員の和服姿なども御披露したいと思っております。

お茶なんか照れくさくて…とか、自分には向きそうもないとかお考えの方も多いことでしょう。でも、忙しい毎日の中で、時には名もない野草に目をとめ、お湯の音に耳を傾けるような、そんな時間を持つてみてはいかがですか?お気軽に和室においで下さい。

(責任者 吉田千登美)

部員	必要経費負担	活 動
12	月額 1,500円その他初めての人は道具代 3,000-5,000円	

囲 碁 部

—親の死に目に会えないだなんて—

わずかに区切られた平面上に織りなされる幾何学的模様。よどみなく流れる日常の片隅にひっそりと息づいている階層でもあるかのように、それは独りで動き出す。その2次元の世界は私達を否応もなく日没の彼方に連れ去り、そして無気味に笑い出す。

この静寂のどこに男のロマンがひそんでいるのだろう

か?はっはっはっ、やっぱり無理かな……………。

でも、おまけに親の死に目にも会えないだなんて……。あつみ、いきおい、調子、みあい、きかし、きかさね、しのじ、味をのこす、意地をはる、あまして打つetc……

碁の用語にはおもしろいものが数多くあり、そのどれもが私達の生活を象徴するかのようです。

ここで碁のおもしろさをいくら言っても尽きません。是非とも気軽に囲碁部を訪ねてください。特に初心者は大歓迎です。

(責任者 岡村廉晴)

部員	必要経費負担	活	動
15	月額 50円		

天文クラブ

我々のクラブ、天文クラブは去年7月にコンパを機として結成した。この大学では新しいクラブなので一見、あまり目立たないようだが、独自のやり方で、これまでなん回かのスライド会(題名「輝けるものたち」)を開催した。大入り満員で、絶大なる賞賛を得た。というのは一応の宣伝文句で(我がクラブとしては真実をモットーとしているので)本当のことを言うとあんまり見る人が多くはなかった。しかし、(この「しかし」を強調したい)星が本当に好きな人がこの学校にいるということを知ってほしい。目下部員12人と人数では中堅クラブ。

なにせ夜の活動?なので、寒くなったりするとあんまりやれない。というより、あんまりやりたくない。望遠鏡は目下2台あり、さらに教育大の30cmの大反射望遠鏡を使わせてもらうことになっているので、今年はパッチシ観測ができる。それから、これは部員にとって一番の関心事であると思われるが、部費についてはほとんど考えなくてよい。お金をかけなくても星は見れることの証拠である。

とにかく、星を見たくなったなあと思ったら我がクラブに来ること。天文クラブに入っている人の約半分は、いままであまり空を見たこともなく、一度見てみたい、空ってどんなに美しいものかなあと思って入った人たちである。よってあまり高度な研究はしないので、一度は入部してみてください。

(責任者 品田雅博)

部員	必要経費負担	活	動
12	年額 1,000円	50年8月 50年9月	旭川・占冠での流星観測 医大祭展示等

うたごえサークル ぼうふら

入学おめでとう。受験で忘れかけていた歌を歌うこと

思い出してみませんか。うたをうたうサークルです。それも、楽器などなくてもうたえる、どんな人ともうたえるうたをうたうサークル、それが「ぼうふら」です。必要なのはうたが好きだという気持ちだけです。私達といっしょに思い切って、腹の底からうたいましょう。そして、多くの人々とうたをうたい、うたを通して心のどこかを通わせましょう。

(責任者 高木勇)

部員	必要経費負担	活	動
11	無料		

「棧敷」文の会

昨年は文芸部にとって、まさしく画期的な1年であった。言うまでもあるまい。例の「棧敷」である。K君を中心に数人の同志が集まり喫茶チロルの2階において大編集会議をしたのが昨年3月である。「棧敷」創刊号発刊が決定され同時に「棧敷文芸の会」が組織された。

医大にはスポーツマンが多い。大変良い事だ。だが文化面での活動は泣きたくなくなるくらいに貧弱なのだ。ほんとに。ひとつには新設されて間もない事がある。伝統がないのだ。人脈も金もない。でもそれは運動クラブにしても同様なことである。「これではいけない」、「つまらない」皆腹の底では思っていたはずなのに実際に行動に移す人間がいなかった。ゼロから出発する困難さが我々の頭上にどんよりと覆い被さっていた。我々は曇った空を見上げて、ただ溜息をついただけだった。

昨年の2月頃、当時の2年、1年の諸君はどんな生活をしてたか憶えているだろうか。旧2年生達はウイスキーをがぶ飲みして現状に対する不満を狂った様にわめいていた。中には泣き出す者も居た。

しかし……………彼らのあの悲痛な叫びも飲み屋の灯りが消えるのと一緒に2月の寒空に支離霧散するしかなかった。自分達の考えを発表する場が必要だった。「棧敷」はそんな状況の中から誕生したのである。そして今、「棧敷」は新たな飛躍を内に秘め第3号を世に出そうとしている。

—— 内なる「私」をみつめ
彼人のところをみつめ
新たな現実を創造する

そこに進む
可能性の文学 —— (「棧敷」第2号より)
(文責 小野稔)

部員	必要経費負担	活	動
15	年額 1,000円その他雑誌赤字の時には有志負担		月1回の例会

学生教育研究災害 傷害保険について

この保険は、文部省が、大学に学ぶ学生の被る種々の正課中の災害に対する被害救済の措置として検討してきた災害補償制度であり、財団法人学徒援護会が損害保険会社20社と契約し昭和51年度から実施する任意保険であります。

諸君もこの趣旨に賛同し、できるだけ多く加入してください。

概要は次のとおりです。

1. 保険金が支払われる場合

大学の正課中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合

① 正課中とは、講義、実験、実習、演習または実技による授業を受けている間をいい、次に掲げる間を含みます。

- (1) 指導教員の指示に基づき、学位論文研究に従事している間。ただし、もっぱら被保険者の私生活にかかる場所においてこれらに従事している間を除きます。
- (2) 全学単位で全員参加を建前とする入学式、オリエンテーション、卒業式など教育活動の一環としての各種学校行事に参加している間。

2. 保険金の種類および額

(1) 死亡保険金

(事故の日から180日以内に死亡したとき)1,000万円

(2) 後遺障害保険金

(事故の日から180日以内に後遺障害が生じたとき)
その程度に応じて 45万円～1,500万円

(3) 医療保険金(医師の治療を受けたとき)

治療期間により7千円～15万円

3. 保険金が支払われない場合(詳細は保険約款)

故意、闘争行為・犯罪行為、疾病、地震・噴火・津波、戦争・暴動、放射線・放射能による傷害および航空機塔乗中の傷害など。

4. 掛金と保険期間(修業期間)

医学部	1カ年	2カ年	3カ年	4カ年	5カ年	6カ年
	850円	1,550円	2,250円	2,900円	3,500円	4,050円

5. 加入受付期間

毎年4月1日～4月30日、及び10月1日～10月31日に加入希望者は、厚生係に申し込んでください。

(学生課)

旭川医科大学談話会

旭川医科大学談話会が、次のように行われました。

(幹事)

第19回 1月20日(火) 司会 山内 卓(生化学講座)

(1)「胎児胎盤機能検査一特に尿中エストリオールについて」助教授 芳賀宏光(産婦人科学講座)

(2)「親子鑑別」

教授 石橋 宏(法医学講座)

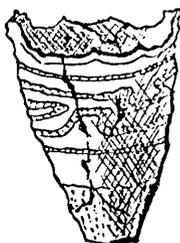
第20回 2月3日(火) 司会 石橋 宏(法医学講座)

(1)「病的組織形態像と診断・研究に利用しようとする際の手段、組織の固定に関する2～3のコメント」助教授 佐藤利宏(病理学第一講座)

(2)「視床下部一向下垂体ホルモンの特性とその1測定法について」

助教授 武部和夫(内科学第二講座)

なお、3月2日(火)開催予定の談話会は、都合により中止となりました。



窓外

▲従来俗に蝦夷島あるいは蝦夷地と呼ばれていたのを、北海道と呼称するようになったのは、明治2年8月この道名とともに国名・郡名の、いわば行政区画の公布によってはじまる。この道名は、奈良時代に設定されていた5畿・七道(東海・東山・北陸・山陰・山陽・南海・西海)にならって、あらたに付加されたものである。「道」は中央集権的律令体制のもとにおいて、本来の行政単位としての国を、さらに官道に即して数国ないし十数国を合せた、行政上・交通上・地理上の区分であったが、中世にいたりその集権体制の瓦解にともない、行政上の意味はまったく消滅してしまっていた。

▲にもかかわらず、明治初年のこの時点で、北海道という道名が行政上の意味をもって復活したのは、その1か月前に断行された政治改革とかわりあいをもつものと推測される。この改革は天皇の神格化、天皇親政、祭政一致、古代官制などの採用を強く打ち出したもので、明治以降の政治改革のなかでもっとも復古的色彩をおびたものといわれている。この政権のもとに、従来のいわば「化外の地」であった蝦夷島に、皇威を直接的に発揚しようとするものであった。

▲ところで、この道・国・郡名の立案者であった松浦武二郎は、道名の候補として日高見、北加伊、海北、海島東北、千島の6名称をあげていた。このうち北加伊とは、アイヌの人たちがその住む地を「カイ」と呼称していたことに由来するものであったが、樺太の地も「カイ」に含まれていると考えられるところから、混乱が生ずるとして、一般的な“北の海の島国”としての「北海」におきかえて、北海道と決定したといわれている。

(は)